

公 告

契約担当官
航空自衛隊第1航空団
会計隊長 伊藤 勝



次により一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」を熟知の上、参加されたい。

なお、本入札に係る契約締結は、当該業務に係る令和7年度本予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものである。

1 競争入札に付する事項

(1) 件名等

件 名 (品 名)	規 格	単 位	数 量	備 考
教育業務の部外委託 (第1術科学校)	仕様書のとおり	式	1	

(2) 履行場所 航空自衛隊浜松基地 第1術科学校

(3) 履行期間 令和7年5月8日～令和8年3月31日

2 競争に参加する者に必要な資格

(1) 資格審査結果通知書(全省庁統一資格)の交付を受けた者で「役務の提供等」D級以上に格付け『東海・北陸地域』の競争参加資格を有する者。

(2) 予算決算及び会計令(以下「予決令」という。)第70条及び第71条の規定に基づき、競争に参加できないとされた者でないこと。

(3) ア 防衛装備庁長官から又は航空幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

イ 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。

ウ 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を防衛装備庁長官が認めた場合には、この限りではない。

3 適用する契約条項を示す場所 静岡県浜松市中央区西山町無番地 航空自衛隊浜松基地 会計隊

4 競争執行の場所及び日時

(1) 場 所 航空自衛隊浜松基地 会計隊 入札室

(2) 入札日時 令和7年4月4日(金)14時00分

5 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6 保証金に関する事項

(1) 入札保証金 予決令第77条第二号により免除

(2) 契約保証金 予決令第100条の3第三号により免除

7 入札の無効

競争に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

8 契約書等作成の要否 要

9 落札決定方式 総額決定

10 契約の方法 確定契約

11 その他

(1) 入札保証金の納付を免除した場合において、落札者が契約を結ばないときは、入札保証金相当額を徴収する。

(2) 入札に先立ち、資格審査結果通知書(全省庁統一資格)の写しを提出すること。(FAX可)

(3) 本入札における郵便入札を可とする。配達記録を有する手段により、令和7年4月2日(水)必着とする。

(4) 入札書に記載された金額に、当該金額の消費税及び地方消費税相当分を加算した金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。なお、免税事業者については、消費税及び地方消費税相当分を上乗せする。

(5) 本書記載事項の詳細については、会計隊契約班に照会のこと。

電話(053)472-1111 内線7042 FAX(053)472-7735

担当: 神田

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	役 務 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号			仕 様 書 番 号
品 名 又は 件 名	教育業務の部外委託（第1術科学校）	浜基LPS-X500039-1	
		承認	令和6年 3月11日
		作成	令和6年 3月11日
		改正	令和7年 3月18日
			令和 年 月 日
	作成部隊等名	第1術科学校教務課	
1 総則 1.1 適用範囲 この仕様書は、航空自衛隊浜松基地第1術科学校（以下，“学校”という。）における教育業務の部外委託について規定する。 1.2 用語及び定義 この仕様書で用いる主な用語及び定義は次による。 1.2.1 教育業務の部外委託 学校の定める教育計画に基づき、学生に対する教育等を契約の相手方の専門的技術を有した者（以下，“講師”という。）が実施することをいう。 1.2.2 教育等 学校における教育及び教育実施に付随する業務をいう。 1.2.3 専門的技術 委託教育課目の教育内容に関する知識を有しており、当該教育に係る講師の経験又は実務経験を有することをいう。 1.2.4 現場責任者 契約の相手方が講師の中から選任する教育実施場所における責任者をいう。 1.2.5 契約担当官 航空自衛隊浜松基地の契約担当官である，第1航空団基地業務群会計隊長をいう。 1.2.6 監督官 役務契約の履行状況を確認するため、契約担当官の補助者として第1術科学校長が指名する監督官であり，その行為について予算執行職員としての義務及び責任を有する者をいう。 1.2.7 主任監督官 監督官を2名以上指名する場合に選任される監督官の代表者をいう。			

品名又は件名	教育業務の部外委託（第1術科学校）
1.3 引用文書 この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。 a) 課程教育細部実施基準 2 役務に関する要求 2.1 役務の内容 2.1.1 一般 学校の各課程学生に対し必要な知識及び技能を付与するため、課程教育細部実施基準に基づき教育する。 2.1.2 委託期間、委託課程名、委託教育課目名及び委託コース数 委託期間、委託課程名、委託教育課目名及び委託コース数は、調達要領指定書による。 2.1.3 教育実施内容等 教育実施内容等は、付表1から付表5による。 2.1.4 教育実施に付随する業務 教育実施に付随する業務は、調達要領指定書による。 2.1.5 教育実施場所 静岡県浜松市中央区西山町無番地 航空自衛隊浜松基地 第1術科学校 2.1.6 教育等実施時間 教育実施場所における教育等の実施時間は、平日の08時15時から17時00分までを基準とし、現場責任者は官側から受講者に対する補習（調達要領指定書に示す学生に対する教育指導）を求められた場合は、平日の08時00分から20時00分までを基準とし、監督官との事前の調整により補習の時間を決定する。 2.1.7 学生アンケート 講師は、教育効果を把握するとともに、教育の最適化を図るために、調達要領指定書に示す課目終了アンケートを用いて受講者に対しアンケートを実施する。この際、受講者の所属、人数、意見及び理解度のデータを収集し、アンケート分析報告書及びアンケート分析・評価結果を用いて教育効果を分析及び評価する。 2.1.8 試験 試験は、学校が準備した問題を使用し実施するものとする。 2.2 講師及び現場責任者の選任 契約相手方は、講師及び現場責任者を選任するに当たり、講師の知識及び経験に係る履歴（任意様式）を作成し、第1術科学校教務課教務班長（以下、“教務班長”という。）の確認を受ける。また、講師を交替又は追加する場合も同様の処置を行う。 2.3 講師の改善 契約相手方は、監督官から講師の改善を求められた場合は、必要な措置を講じなければならない。	

品名又は件名	教育業務の部外委託（第1術科学学校）
2.4 現場責任者業務 a) 委託業務の履行に係る講師の監督指導 b) 委託業務に関する監督官との業務連絡及び調整 c) b)に関する講師への周知徹底 d) 4.1.3 から 4.1.5 に示す提出書類の作成 e) 講師の規律及び秩序の保持並びに当該契約において知り得た情報の保全 2.5 教材 教材は、調達要領指定書に示す教材及び講師が自ら作成した教育用資料とする。ただし、当該教材のほか、必要に応じ学校が保有するその他の教材を併用することも可とする。 なお、講師が教育用資料を作成した場合、現場責任者は、その使用に先立ち、監督官を通じ第1術科学学校の第1教育部教育第2科長、第3科長、第2教育部教育第6科長、第7科長及び第3教育部第9科長（以下“各担当科長”という。）の確認を受ける。 3 監督・検査 監督及び検査は、本仕様書及び契約書に定めるところによるほか、委託課程教育及び提出書類において不具合が確認された場合は、契約相手方の負担により必要な処置を行う。 4 その他の指示 4.1 提出書類 4.1.1 教育等実施計画書 契約の相手方は、契約締結後速やかに 2.1 に示す役務の内容を含む教育等実施計画書（任意様式）を主任監督官と協議の上、1部作成し、教務班長の確認を受けた後、主任監督官に提出する。また、教育等実施計画書に変更が生じた場合も同様の処置を行う。 4.1.2 講師の知識及び経験に係る履歴 契約の相手方は、2.2 において教務班長の確認を受けた講師の知識及び経験に係る履歴を1部、主任監督官に提出する。 4.1.3 業務日誌 現場責任者は、実施した教育等における教育実施内容及び業務内容並びにそれぞれの実施時間を記載した業務日誌（任意様式）を作成し、監督官の確認を受ける。 なお、監督官の確認を得た業務日誌は、月ごと取りまとめ、主任監督官に提出する。 4.1.4 アンケート及び教育用資料 現場責任者は、2.1.7 において実施した学生アンケート（課目終了アンケート）及び2.5 において各担当科長の確認を受けた教育用資料を各1部、監督官を通じ各担当科長に提出する。 4.1.5 教案、教程案及び次期以降の試験問題案 現場責任者は、表2に示す教案、教程案及び次期以降の試験問題案を作成した場合は、各担当科長の確認を受けた後、各1部（任意様式）、監督官を通じ各担当科長に提出する。	

品名又は件名	教育業務の部外委託（第 1 術科学校）
4.1.6 アンケート分析報告書，教育等実施報告書及び教育成果報告書 契約相手方は，全ての教育等終了後速やかに次に示す提出書類をパソコン等により浄書したものを各 1 部作成し，監督官の確認を受けた後，主任監督官を通じ教務班長に提出する。 a) アンケート分析報告書及びアンケート分析・評価結果 2.1.7 による。 b) 教育等実施報告書 付表 6 による。 c) 教育成果報告書 付表 7 による。 4.2 官側における支援 契約の相手方は，教育等の実施にあたり，官側の支援を必要とする場合，次の事項について，監督官の確認を得て，無償で官側の支援を受けることができるものとし，使用に際しては，監督官の指示に従わなければならない。 a) 教育等に必要な教材及び器材の使用並びに関連消耗品の供与 b) 教育等に必要な技術指令書の閲覧 c) 教育等に必要な資料の閲覧 d) 契約の相手方が行う講師の練成（課程の聴講）についての協力 e) 学校内の事務室の利用及び搬入物品の保管場所の提供 f) 学校内の電気，水，隊内電話及び冷暖房設備（燃料を含む。）の利用 4.3 秘密保全 a) この仕様書は，この役務履行の目的以外で使用してはならない。 b) 契約の相手方は，基地内において役務履行に必要な場所以外への立ち入りは行わないこととし，細部は，監督官の指示に従わなければならない。 c) 携帯電話，カメラ及びパソコン等を含む可搬型記憶媒体の持ち込み及び使用については，監督官の指示に従わなければならない。 4.4 個人情報管理 a) 契約相手方は，個人情報の漏洩等防止のため，必要な相応の管理を行う。 b) 契約相手方は，委託業務に係る個人情報を他の目的で利用してはならない。 4.5 安全管理 役務履行中において，人，施設及び物品等に損害を与えた場合若しくは，亡失させた場合は，速やかに主任監督官に知らせるとともに，契約の相手方の責任において補償しなければならない。 4.6 監督官及び主任監督官の通知 この契約における監督官及び主任監督官を明確に示すため，任命又は解任の都度，主任監督官から現場責任者に通知する。 c) この仕様書に規定されていない事項又は疑義が生じた場合は，速やかに主任監督官に確認し，その指示に従わなければならない。 5 その他必要な事項 契約の相手方は，基地において法令及び基地で定めた規則を遵守し，行動しなければならない。代表的な遵守事項は次によるほか，細部は，監督官の指示に従わなければならない。 a) 役務履行のため浜松基地に立ち入る際，正門警衛所にて面会及び車両の乗り入れに必要な手続きを実施する。 b) この役務契約において知り得た情報は，第三者に漏らしてはならない。	

品名又は件名	教育業務の部外委託（第 1 術科学学校）
付表 1－教育実施内容等	
委託課程名	初級航空機整備基礎課程及び初級航空機整備基礎課程（甲）
受講対象者	空曹，空士，事務官等
課目基準時間	90時間
主要教育内容	1 整備基礎 1 (1) 課程の概要（2 時間） (2) 特技制度と実務訓練（3 時間） (3) 整備士に関する諸規則（1 時間） (4) 技術指令書（4 時間） (5) 整備一般（8 時間） (6) 補給（5 時間） (7) 度量衡（1 時間） (8) 試験（1 時間） 2 整備基礎 2 (1) 飛行原理（6 時間） (2) 航空機の概要（1 1 時間） (3) 安全（6 時間） (4) 基本部品（4 時間） (5) 試験（1 時間） 3 基本工術 (1) 整備の基本（4 時間） (2) 手工具（4 時間） (3) 計測器（2 時間） (4) 着脱作業（1 1 時間） (5) 回り止め作業（1 1 時間） (6) 試験（5 時間）
5	

品名又は件名	教育業務の部外委託（第 1 術科学学校）
付表 2－教育実施内容等	
委託課程名	初級機上電子整備員課程及び初級機上電子整備員課程（甲）
受講対象者	初級通信電子整備基礎課程を修了した者又はこれと同等以上の能力を有する空曹，空士，事務官等
課目基準時間	90時間
主要教育内容	1 機上電子整備業務基礎 （1）実務訓練制度（3時間） （2）出版物（5時間） （3）補給（4時間） （4）整備一般（9時間） （5）工具及び計測器検定制度（3時間） （6）基本作業（2時間） （7）試験（1時間） 2 VHF/UHF無線機 （1）目的及び機能（1時間） （2）主要構成品（3時間） （3）操作と作動（16時間） （4）整備実習（8時間） （5）試験（2時間） 3 タカン装置 （1）目的及び機能（9時間） （2）主要構成品（3時間） （3）操作と作動（12時間） （4）整備実習（7時間） （5）試験（2時間）
付表 3－教育実施内容等	
委託課程名	初級航空機整備員課程及び初級航空機整備員課程（甲）
受講対象者	初級航空機整備基礎課程を修了した者又はこれと同等以上の能力を有する空曹，空士，事務官等
課目基準時間	23時間
主要教育内容	整備管理基礎 1 出版物（4時間） 2 点検及び検査（2時間） 3 整備記録（15時間） 4 試験（2時間）
6	

品名又は件名	教育業務の部外委託（第 1 術科学学校）
付表 4－教育実施内容等	
委託課程名	初級工作整備員課程及び初級工作整備員課程（甲）
受講対象者	初級航空機基礎課程を修了した者又はこれと同等以上の能力を有する空曹，空士，事務官等
課目基準時間	6 1 時間
主要教育内容	1 材料一般 (1) 金属材料（7 時間） (2) 非金属材料（2 時間） (3) 機械試験（1 時間） (4) 非破壊検査（1 時間） (5) 防食（4 時間） (6) 試験（1 時間） 2 製図 (1) 基本図法（7 時間） (2) 機械部品の図示法（2 時間） (3) 見取り図（1 時間） (4) 溶接記号（1 時間） (5) 展開法（2 時間） (6) 試験（1 時間） 3 航空機の塗装 (1) 塗装の基礎（6 時間） (2) 航空機の塗装（1 9 時間） (3) 試験（6 時間）
7	

付表5－教育実施内容等

委託課程名	初級通信電子整備基礎課程及び初級通信電子整備基礎課程（甲）
受講対象者	空曹，空士，事務官等
課目基準時間	188時間
主要教育内容	1 電気理論 （1）電気（8時間） （2）直流（20時間） （3）交流（32時間） （4）試験（6時間） 2 電子回路 （1）半導体（12時間） （2）増幅（24時間） （3）発振（8時間） （4）変調及び復調（10時間） （5）電源（8時間） （6）試験（4時間） 3 レーダーの基礎 （1）パルス（8時間） （2）電波（7時間） （3）レーダー（11時間） （4）試験（2時間） 4 電子計算機の基礎 （1）デジタルの基礎（15時間） （2）電子計算機（4時間） （3）ネットワークの概要（7時間） （4）試験（2時間）

付表6－教育等実施報告書

教育実施報告書									
防衛省 航空自衛隊 第1術科学学校 教務課長 殿 (教務班長気付) 会社名 住所 代表者名 第 (. . .) 号 印									
次のとおり、仕様書(空幕LPSー)に基づき、教育実施状況について報告します。									
確認		確認者		確認印		確認年月日			
航空自衛隊 第1術科学学校監督官									
契約番号	第 (. . .) 号	調達要求番号		令和 年 月 日		令和 年 月 日			
品名	教育業務の部外委託(第1術科学学校)								
教育実施場所	第1術科学学校(浜松基地)								
講師の所属			講師氏名等		番号		氏名		
					1				
					2				
					3				
					4				
					5				
問題点									
改善点									
特記事項									
教育等結果	課程名	課程 期別	講師 番号	教育時間	教育実施に付随する業務 業務内容		時間		
		課程 期		時間			時間		
		課程 期		時間			時間		
		課程 期		時間			時間		
		課程 期		時間			時間		
合計						時間			

注記 用紙は、A列4番とし、横長に使用する。

付表7－教育成果報告書

教育成果報告書									
防衛省 航空自衛隊 第1術科学学校 教務課長 殿 (教務班長気付)									
第 号 (. .)									
会社名 住所 代表者名 印									
次のとおり、仕様書（浜基LPSー）に基づき、教育成果について報告します。									
確認		確認者 航空自衛隊 第1術科学学校監督官		確認印		確認年月日			
契約番号	第 号 (. .)			調達要求番号					
品名	教育業務の部外委託（第1術科学学校）			納期		令和 年 月 日～令和 年 月 日			
教育実施場所	第1術科学学校（浜松基地）								
対象課程	課程期別	委託教育課目	教育実施期間		受講者数	基準達成率	平均点/満点		
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	
課程	期		令和 年 月 日～令和 年 月 日	令和 年 月 日	名	%	点/	点	

注記 用紙は、A列4番とし、横長に使用する。

調 達 要 領 指 定 書	発 簡 番 号	
	調 達 要 求 番 号	1 5 6
	調 達 要 求 年 月 日	令和 7 年 3 月 1 8 日
	作 成 部 課	第 1 術 科 学 校 教 務 課
	作 成 年 月 日	令和 7 年 3 月 1 0 日
品 名	教育業務の部外委託（第 1 術 科 学 校）	
仕 様 書 番 号	浜基 L P S - X 5 0 0 0 3 9 - 1	

指 定 事 項 :

2. 1. 2 委託期間, 委託課程名, 委託教育課目名及び委託コース数
表 1 のとおりとする。

表 1 - 委託期間, 委託課程名, 委託教育課目名及び委託コース数

委託期間	委託課程名	委託教育課目名	委託コース数
令和 7 年 5 月 8 日～ 令和 8 年 3 月 3 1 日	初級航空機整備基礎 課程及び初級航空機 整備基礎課程（甲）	整備基礎 1	1 2 コース
		整備基礎 2	1 2 コース
		基本工術	1 2 コース
	初級機上電子整備員 課程及び初級機上電 子整備員課程（甲）	機上電子整備業務基礎	2 コース
		VHF / UHF 無線機	2 コース
		タカン装置	2 コース
	初級航空機整備員課 程及び初級航空機整 備員課程（甲）	整備管理基礎	4 コース
	初級工作整備員課程 及び初級工作整備員 課程（甲）	材料一般	1 コース
		製図	1 コース
		航空機の塗装	1 コース
	初級通信電子整備基 礎課程及び初級通信 電子整備基礎課程 （甲）	電気理論	2 コース
		電子回路	2 コース
		レーダーの基礎	2 コース
		電子計算機の基礎	2 コース

2. 1. 4 教育実施に付随する業務

業務内容及び基準時間については、表2のとおりとし、委託課程別の業務実施に付随する業務の基準時間については、表3のとおりとする。

表2－教育実施に付随する業務

業務内容	基準時間
学生に対する教育指導（補習を含む。）	6, 600時間
教育関連会議への出席	
教育等実施報告書及び教育成果報告書等の作成	
アンケート分析・評価結果及びアンケート分析報告書の作成	
教育実施の調整	
教案及び教程案の作成並びに見直しに関する事項	
次期以降の試験問題案の作成及び見直しに関する事項	
教育用資料の作成	
授業に関わる準備等	
課程教育細部実施基準案の作成及び見直しに関する事項	

表3－委託課程別の教育実施に付随する業務の基準時間

委託課程名	基準時間	総計
初級航空機整備基礎課程及び初級航空機整備基礎課程（甲）	4, 120時間	6, 600時間
初級機上電子整備員課程及び初級機上電子整備員課程（甲）	684時間	
初級航空機整備員課程及び初級航空機整備員課程（甲）	357時間	
初級工作整備員課程及び初級工作整備員課程（甲）	234時間	
初級通信電子整備基礎課程及び初級通信電子整備基礎課程（甲）	1, 205時間	

2. 1. 7 学生アンケート

課目終了アンケートについては、表4のとおりとし、アンケート分析報告書は表5、アンケート分析・評価結果は表6のとおりとする。

表4－課目終了アンケート

期別・課程		階 級	氏 名
課 目	担当講師		
理 解 度	Q1	本課目の教育について理解できましたか。 ① 理解できた ② 理解できない部分があった ③ 理解できなかった	
	Q2	(Q1で、②、③を選択した者のみ回答) ②、③を選択した者は、どこの部分がどう理解できなかったのか具体的に記入	
教 材	Q1	教材についてはどうでしたか。(講師配布資料含む) ① 良い ② 普通 ③ 悪い	
	Q2	(Q1で、③を選択した者のみ回答)何の教材がどう悪かったのか具体的に記入	
配当時間	Q1	課目の配当時間については、どのように感じましたか。 ① 長い ② 適切 ③ 短い ④ その他	
	Q2	(Q1で①、③、④を選択した者のみ回答)何故そう感じたのか具体的な理由を記入	
教育方法	Q1	講師の教育方法について良好だった点、改善を必要とする点はありますか。	
		1 良好だった点 2 改善を必要とする点	
予習・復習		① 予習・復習両方 ② 予習のみ ③ 復習のみ ④ しなかった	
		総時間 約 時間 (上記で回答した合計時間を記入)	
そ の 他	1	印象に残った良い点は何ですか。(具体的に記入)	
	2	教育環境等について改善事項はありますか。(具体的に記入)	

注記 用紙は、A列4番とする。

表５－アンケート分析報告書

アンケート分析報告書

令和 年 月 日

防衛省 航空自衛隊
第１術科学学校 教務課長 殿
(教務班長気付)

会 社 名
住 所
代表者名

次のとおり、仕様書（浜基ＬＰＳ－ ）に基づき、アンケート分析・評価結果について報告します。

確認	確認者	確認印	確認年月日
	航空自衛隊 第１術科学学校監督官		

- 1 契 約 番 号 第 号 (. .)
- 2 調達要求番号
- 3 品 名 教育業務の部外委託（第１術科学学校）
- 4 納 期 令和 年 月 日～令和 年 月 日
- 5 教育実施場所 第１術科学学校（浜松基地）

注記 用紙は、Ａ列４番とする。

表５－アンケート分析報告書（続き）

6 アンケート分析・評価結果

対象課程	課程期別	委託教育課目	講師	分析・評価結果
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第
課程	期			別紙第

添付書類：別紙第 ～別紙第 「アンケート分析・評価結果」

表 6－アンケート分析・評価結果

別紙第

アンケート分析・評価結果

課 程 名	
期 別	
学 生 数	
学生所属（原隊）	

教育課目	
担当講師	

所見

Empty space for observations

アンケート集計結果は，属紙のとおり。

注記 用紙は，A列4番とする。

表 6－アンケート分析・評価結果（続き）

アンケート集計結果								属紙
期別・課程				学 生 数				
教育課目				担当講師				
理 解 度	①理解できた	名	②理解できない部分があった	名	③理解できなかった	名		
	②、③を選択した者は、どこ部分がどう理解できなかったのか。							
教 材	① 良い	名	② 普通	名	③ 悪い	名		
	③を選択した理由は、何の教材がどう悪かったのか。							
配当時間	① 長い	名	② 適切	名	③ 短い	名	④ その他	
	①、③、④を選択した者は、何故そう感じたのか。							
教育方法	1 良好だった点							
	2 改善を必要とする点							
予習・復習	予習・復習両方	名	予習のみ	名	復習のみ	名	しなかった	
	平均予習・復習時間 約 時間							
そ の 他	1 印象に残った良い点							
	2 教育環境等についての改善事項							

注記 用紙は、A列4番とする。

2. 5 教材

教材については、表 7 のとおりとする。

表 7－教材

委託課程名	委託教育課目名	教材
初級航空機整備基礎課程及び初級航空機整備基礎課程(甲)	整備基礎 1	教程「航空機整備基礎」 プログラム・ブック
	整備基礎 2	教程「航空機整備基礎」
	基本工術	教程「基本工術」 教育資料「ベーシック・マナー」
初級機上電子整備員課程及び初級機上電子整備員課程(甲)	機上電子整備業務基礎	教程「職務概要／機上電子整備業務基礎」
	VHF／UHF無線機	教程「VHF／UHF無線機」
	タカン装置	教程「タカン装置」
初級航空機整備員課程及び初級航空機整備員課程(甲)	整備管理基礎	教程「航空機一般(その2)」
初級工作整備員課程及び初級工作整備員課程(甲)	材料一般	教程「材料一般」
	製図	教程「製図」
	航空機の塗装	教程「航空機の塗装」
初級通信電子整備基礎課程及び初級通信電子整備基礎課程(甲)	電気理論	教程「電気理論」
	電子回路	教程「電子回路」
	レーダーの基礎	教程「レーダーの基礎」
	電子計算機の基礎	教程「電子計算機の基礎」